

トーキョーアーツアンドスペース レジデンス 2018 成果発表展  
行為の編纂



Compiling behaviors, digesting actions

[第1期] 2018年4月14日(土)～5月13日(日)

[第2期] 2018年6月2日(土)～7月1日(日)

トーキョーアーツアンドスペース本郷

— 世界の街を舞台に滞在制作を行った、国内外のクリエイターたちによる成果発表展

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)では、2006年よりレジデンス・プログラム「クリエイター・イン・レジデンス」を開始し、東京や海外の派遣先を舞台に、アート、映像、音楽、建築など様々なジャンルや国籍のクリエイターたちへ滞在制作の機会を提供しています。本展では、2017年にTOKASから海外各地の提携機関へ派遣されたクリエイターと、TOKASに招聘された計11組のクリエイターによる滞在制作の成果を発表します。

■ 展覧会概要

展覧会名: 行為の編纂 —トーキョーアーツアンドスペース レジデンス 2018 成果発表展—

英語タイトル: Compiling behaviors, digesting actions -TOKAS Creator-in-Residence 2018 Exhibition-

会 期: 第1期 2018年4月14日(土)～5月13日(日)

第2期 2018年6月2日(土)～7月1日(日)

会 場: トーキョーアーツアンドスペース本郷 (東京都文京区本郷2-4-16)

開館時間: 11:00 - 19:00 (最終入場は30分前まで)

休館日: 月曜日 [ただし4月30日(月)は開館、翌5月1日(火)休館]

入 場 料: 無料

主 催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 育成支援課

クリエイター: 第1期 臼井仁美、水木 壘、Qenji Yoshida、カアン・ミュージジジ、グリッサゴーン・ティンタップタイ

第2期 金井 学、鎌田友介、田中英行、中島伽耶子、プラパット・ジワランサン、トビアス・ツイローニ

提携都市/機関: アーツ・イン・レジデンス台北/トレジャーヒル・アーティスト・ヴィレッジ(台湾・台北)、アジアリンク/RMIT 大学[ロイヤルメルボルン工科大学] (オーストラリア・メルボルン)、アトリエ・モンディアル(スイス・バーゼル)、ケベック・アーツカウンシル(カナダ・ケベック)、HIAP[ヘルシンキ・インターナショナル・アーティスト・プログラム] (フィンランド・ヘルシンキ)、マタデロ・マドリッド (スペイン・マドリッド)、MMCAレジデンス・コヤン(韓国・ソウル)

ウェブサイト: <http://www.tokyoartsandspace.jp/>



<お問い合わせ >

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室3F

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 育成支援課 広報担当: 市川、荻田

TEL: 03-5633-6373 / FAX: 03-5633-6374 E-mail: [press@tokyoartsandspace.jp](mailto:press@tokyoartsandspace.jp)

※トーキョーアーツアンドスペースは、平成29年10月1日よりトーキョーワンダーサイトから名称を変更しています。

## ■ 展覧会について

私たちは日々、身の回りの状況にほぼ無意識に適応しながら暮らしています。地理や文化、慣習など、半永久的に不変なもの、また時代によって変化していくもの、それぞれを受け入れて身体は日常を振舞います。

今回紹介する11組のアーティストはレジデンス滞在という、普段慣れ親しんだ環境とは異なる空間に意識的に自らの身体を置き、そこでの経験や発見から、自身の物事に対する見方や態度への理解を深めていきました。その解釈を、独自の方法で形ある表現へとアウトプットするとき、彼らが蓄積し、咀嚼してきた行為や行動が、彼ら自身の身体を離れ、他者との新たな関係性を築きます。

■ 参加作家／広報用画像 ※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

### ■第1期

臼井仁美

平成29年度二国間交流事業プログラム<ヘルシンキ>

2017年10月～12月滞在

人間が最初に道具として用いた素材は木であると考え、木器時代(Wood Age)が存在したと想定する臼井は、ヘルシンキ近郊の森林への行き来を基本活動とし、人がものを作ることの原点を問いながら森で見つけた素材でインスタレーションを構成します。



1

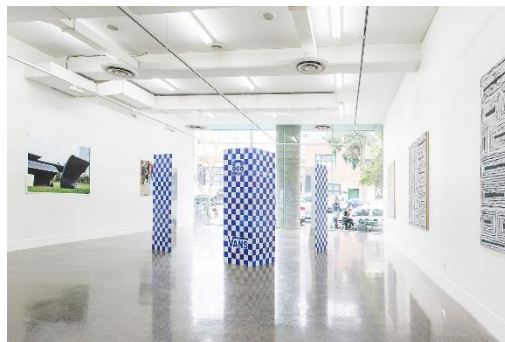
「Make Art Political / Make Art Public」展 HIAP Gallery Augusta での  
インスタレーション・ビュー 2017

水木 壘

平成29年度二国間交流事業プログラム<メルボルン>

2017年8月～10月滞在

滞在先のメルボルンで目にした、グラフィティや屋外彫刻など公共空間にあるものが、人の介在によって、本来の役割や機能を変化させることに注目した水木は、そのコンセプトを元にピクニックテーブルや歪曲した鏡面立体を用いて、物の従来の意味や機能を混乱させる空間を出現させ、鑑賞者にもとの空間との関係性を問いかけます。



2

RMIT プロジェクトスペースでの展示風景 2017

Qenji Yoshida

平成29年度二国間交流事業プログラム<マドリッド>

2017年10月～11月滞在

マドリッドでの滞在制作を終えた Yoshida は、エル・グレコの絵画《寓話》と狂言の「靱猿(うつぼざる)」という、文化背景や内容は無関係だが表面的に類似した特徴をもつ、異なる事象を同時に参照し、二つの世界観を結ぶ新たな寓話の在り方を提示します。



3

《寓話》 2016-2017

プロジェクター、リアプロジェクター・スクリーン、モニター

**カアン・ミュージデジ****平成 29 年度海外クリエイター招聘プログラム****2017 年 5 月～7 月滞在**

映画監督・プロデューサーのミュージデジは、東京では一般的であるコンパクトな居住空間と、パワーバランスの変化に興味を抱き、構想作品『イグアナ・トーキョー』の序章となる部分を、インスタレーションとして提示します。



4

『SIVAS』映画ポスター 2014

**グリッサゴーン・ティンタップタイ****平成 28 年度海外クリエイター招聘プログラム****2017 年 1 月～3 月滞在**

ティンタップタイは幼少時に仏門に入り、以来、寺院で生活をしています。修行僧としての死生観を反映する映像作品を制作。今回はタイで撮影した新作映像をインスタレーションで発表します。

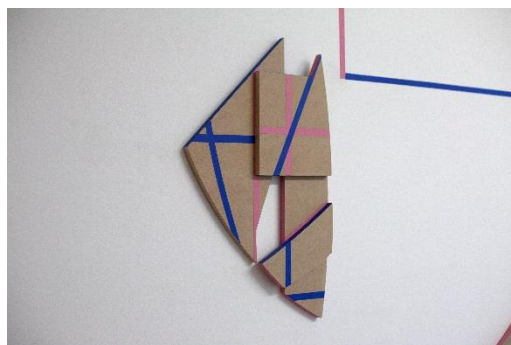


5

《Net》 2017 映像

**■第 2 期****金井学****平成 29 年度二国間交流事業プログラム<ケベック>****2017 年 4 月～6 月滞在**

事物と空間の性質との結節点に生じる技術的形式を作品として制作する金井は、ケベックでの滞在中に、ひとつの集合体としても個々の作品としても成立する立体作品を複数点制作、展示を行いました。TOKAS 本郷でも、各スペースに向き合って導き出したインスタレーションを展開予定です。



6

《インビトゥイーン・ピース》 2017 建築空間、MDF、塗料

**鎌田友介****平成 29 年度二国間交流事業プログラム<ソウル>****2017 年 6 月～8 月滞在**

日本統治時代の痕跡が単なる歴史ではなく、現在の韓国を構成する大きな要素として存在していることに着目した鎌田は、ソウルでのリサーチを元に、身近にある政治と歴史をテーマにした映像作品を発表します。



7

《The House》 2016 木材 国際芸術センター青森での展示風景

**田中英行****平成 29 年度二国間交流事業プログラム〈バーゼル〉****2017 年 5 月～7 月滞在**

人間と環境の間に存在する目に見えない関係性や物語、共通認識の可視化、物質化を試みる田中は、バーゼル滞在中に制作した映像作品を中心に写真作品とともに構成したインスタレーションを展開します。

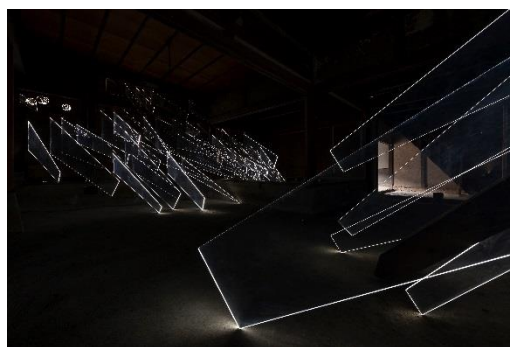


8

《Green Border》 2017 4K 映像

**中島加耶子****平成 29 年度二国間交流事業プログラム〈台北〉****2017 年 10 月～12 月滞在**

コントロールできない変化と対峙する人間の姿について追求する中島は、台北の老人たちが日本語を話す場面に遭遇し、日本統治下の歴史と環境の変化と適応を目の当たりにしました。TOKAS 本郷では既存の空間に手を加え、鑑賞者を通常とは異なる空間での鑑賞体験に誘導します。

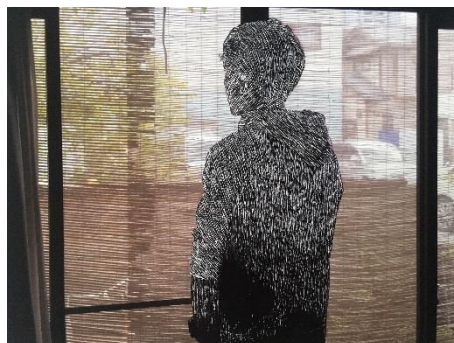


9

《時のふる家》 2016 民家、アクリル板

**ブラパット・ジワランサン****平成 29 年度海外クリエイター招聘プログラム****2017 年 9 月～11 月滞在**

ジワランサンは、不法就労移民のもとに生まれたが故に、住み慣れた日本から、一度も行ったことのない母国へ強制退去させられる状況にあるタイ人青年へのリサーチやインタビューを行いました。本展ではそのプロセスを追った映像作品を中心に紹介します。



10

《Destination Nowhere》 2017 傷をつけた写真

**トビアス・ツィローニ****平成 28 年度海外クリエイター招聘プログラム****2017 年 1 月～3 月滞在**

社会・政治問題を写真や映像を用いて表現しているツィローニは、近年ドイツにおける移民や移民活動家を撮影した作品を発表しています。日本に滞在中、愛知県豊田市や茨城県常総市の日系ブラジル人のコミュニティを中心に取材し、日本における移民やマイノリティーの置かれた状況を考察した作品を発表する予定です。



11

## ■ オープニング・トーク

※参加クリエイターは変更となる場合がございます。予めご了承ください。日英通訳あり。

### 第1期

日 時： 4月14日(土)16:00 - 18:00

参加クリエイター： 臼井仁美、水木 壘、Qenji Yoshida、カアン・ミュージデジ、グリッサゴーン・ティンタップタイ

### 第2期

日 時： 6月2日(土)16:00 - 18:00

参加クリエイター： 金井 学、田中英行、中島伽耶子、プラパット・ジワランサン

## ■ 参加作家略歴

### 第1期

#### ■ 臼井仁美 | USUI Hitomi

1980年東京都生まれ、東京都在住。日本大学海洋生物資源科学科卒業後、2004年東京藝術大学入学、2010年同大学大学院美術研究課木工芸研究室修了。近年の主な展覧会に「Make Art Political / Make Art Public」(HIAP Gallery Augusta and Project Space、ヘルシンキ、2017)、「金閣寺 銀閣寺 茶箱展」(銀座三越、東京、2016)、「若手工芸作家国際展 第2回薪技藝」(東京藝術大学陳列館、2016)、「EXHIBITION MATERIAL SYMPHYSIS」(The Foyer gallery UCA, The Crafts Study Centre、ロンドン、2016)、「2015 台南国際木質創作展」(台南總爺藝文中心、台南、台湾、2015)など。

#### ■ 水木 壘 | MIZUKI Rui

1983年京都府生まれ、京都府在住。2016年に京都市立芸術大学大学院美術研究科後期博士課程修了。近年の主な展覧会に「鏡と穴—彫刻と写真の界面 vol.3 水木壘」(gallery αM、東京、2017)、「C's」(RMIT Project Space、メルボルン、2017)、「NEO-EDEN」(蘇州金鷄湖美術館、中国、2016)、「都市—Cityscapes/Residences」(kana kawanishi Gallery、東京、2015)、「PARASOPHIA 特別連携プログラム / still moving」(元崇仁小学校、京都、2015)など。

#### ■ Qenji Yoshida

1982年大阪府生まれ、大阪府在住。2006年 シティ&ギルズオブロンドンアートスクール、ポストグラデュエート・ディプロマ、ファインアート科中退。近年の主な展覧会に「Delikado Peligroso」(マタデッロ・マドリード、2017)、「Incomprehensible が理解できない」(QUINTA DEL SORDO、マドリード、2016)、「Vague Distance」(plan.d. galerie、デュッセルドルフ、ドイツ、2016)、「The Arts of Translation」(BUG Rangsit、バンコク、2016)、「Art Shower 2015」(CASO、大阪、2015)など。2016年 文化庁新進芸術家海外研修制度(短期研修)にてスペインに滞在。

#### ■ カアン・ミュージデジ | Kaan MÜJDECI

1980年アンカラ(トルコ)生まれ、ベルリン在住。映画制作を学ぶ。映画監督、プロデューサー。主な映画に『Sivas(邦題:シーヴァス 王子様になりたかった少年と負け犬だった闘犬の物語)』(第71回ヴェネチア映画祭、2014、審査員特別賞受賞)。また同作品は第88回アカデミー賞外国語映画部門トルコ代表作品選出。その他の映画に『Babalar ve Oğulları (Fathers and Sons)』(2012)、『Jerry』(2011)、『Tag der Deutschen Einheit (Day of the German)』など。2018年ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川(京都)に滞在。

#### ■ グリッサゴーン・ティンタップタイ | Krissakorn THINTHUPTHAI

1979年スリン(タイ)生まれ、バンコク在住。Pohchang Academy of Arts 卒業。映画監督アピチャッポン・ウィーラセタクン設立の映画製作会社キック・ザ・マシーンにてアシスタントとしての経験を積む。近年は自身の作品もロッテルダム、ニューヨーク、ハンブルグをはじめとした多くの国際映画祭で上映。近年の主な展覧会に「Now Showing」(URANO、東京、2013)、「トーキョー・ストーリー2011」(TWS 渋谷、2012)など。

**第2期****■金井 学 | KANAI Manabu**

1983年東京都生まれ、東京都在住。2015年に東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。近年の主な展覧会に「Parataxis, Everyday Life」(Fremantle Arts Centre、フリーマントル、オーストラリア、2016)、「TRANSPRESENTNESS: Inventions and Time of the Androgynous」(VCA Student Gallery、メルボルン、2016)、「A standard for several things」(A-things、東京、2014)、「Interpenetrating Spaces, Suspended Coincidence」(Kasame/Culture Park、コシツエ、スロバキア、2013)など。2015年にポーラ美術振興財団の助成にてメルボルン大学付属の研究所 The Centre For Ideas に客員研究員として在籍、また2016年にアーツカウンシル東京及び野村財団の助成にて西オーストラリアでのレジデンス・プログラムに参加。

**■鎌田友介 | KAMATA Yusuke**

1984年神奈川県生まれ、神奈川県在住。2013年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。近年の主な展覧会に「Love at First Sight」(MMCA レジデンス・コヤン、韓国、2017)、「《Urban Ritomello》 The Archives on Community」(イルミン美術館、韓国、2017)、「MOT サテライト 2017 秋」(MOT スペース、東京、2017)、「カエテミル」(国際芸術センター青森、2016)、「TWS-NEXT @tobikan クレアボヤンス」(東京都美術館、2016)など。2018年ACCの助成にてニューヨークに滞在。

**■田中英行 | TANAKA Eikoh**

1981年京都府生まれ、京都府在住。2007年に京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。近年の主な展覧会に「わたしの中のわたしたち」(奈義町現代美術館、岡山、2014)、「International Videoart Festival Magmart VII」(Casoria Contemporary Art Museum、カゾーリア、イタリア、2013)、「Power, Where Does the Beauty Lie」(SOMA 美術館、ソウル、2013)、「文化庁メディア芸術祭香港展 2012 "PARADE"」(ArtisTree、香港、2012)、「六本木アートナイト 2012」(東京、2012)など。2002年からアーティストコレクティブ Antenna としても活動している。

**■中島伽耶子 | NAKASHIMA Kayako**

1990年京都府生まれ、京都府在住。2015年東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻修士課程修了。近年の主な展覧会に「2017 Season 4 Treasure Hill Residency Artists Exhibition」(Treasure Hill, Frontier Plaza、台湾、2017)、「六甲ミーツ・アート芸術散歩」(六甲山、兵庫、2017)、「Sculpture by the sea 2017」(パース、オーストラリア、2017)、「瀬戸内国際芸術祭 2016」(高見島、香川、2016)、「ゲンビどこでも企画公募 2016」(広島市現代美術館、2016)、「越後妻有アトリエンナーレ大地の芸術祭 2015」(枯木又集落、新潟、2015)など。受賞歴に「ゲンビどこでも企画公募 2016」沢山遼賞。

**■プラパット・ジワランサン | Prapat JIWARANGSAN**

1979年バンコク生まれ、バンコク在住。2011年ロンドン・ロイヤルカレッジ・オブ・アート修了。近年の主な展覧会に「Asylum seeker: the pond and the fireflies」(The Jam Factory、バンコク、2016)、「Life-World of Asia」(黄金町バザール、神奈川、2016)、「Here, There and Everywhere: Eurasian Cities」(The Asia Culture Center、光州、韓国、2015)、「In the asylum garden」(Kunstverein Baden、バーデン、オーストリア、2014)など。受賞歴に「Imagining New Eurasia Project」で審査賞第二位。2016年 Geumcheon Art Space (ソウル)と黄金町エリアマネジメントセンター(神奈川)でのレジデンス・プログラムに参加。

**■トビアス・ツィローニ | Tobias ZIELONY**

1973年ヴッパタール(ドイツ)生まれ、ベルリン在住。2004年にライブツィヒ視覚芸術アカデミーより MFA 取得。近年の主な展覧会に「Warten」(Kunsthalle Hamburg、ドイツ、2017)、「The Citizen」(Bozar Center for Fine Arts、ブリュッセル、2016)、「DB Photography Prize」(Photographer's Gallery、ロンドン、2016)「The Citizen」(KOW Berlin、2016)、「第56回ヴェネツィアビエンナーレ」(ドイツ館、2015)など。

トーキョーアーツアンドスペースレジデンス 2018 成果発表展  
「行為の編集」  
広報用画像申込書

Fax 番号: **03-5633-6374**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他( )

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送( 月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請し直してください。

※画像は、メールにてデータをお送りします。お手元に届くまでのお時間を1~2日ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像は、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web でのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記などを施してください。

※事前に記事原稿を拝見させていただきますよう、お願いします。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVD を一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室3F

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 育成支援課

トーキョーアーツアンドスペース 広報担当: 市川、荻田

TEL: 03-5633-6373 / FAX: 03-5633-6374 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp